

# 国語科 小学校 2年

単元名 だいじなところに 気をつけて読もう  
「サンゴの海の生きものたち」  
光村図書 「国語二上」(旧版)

## 単元の流れ (全12時間)

### 【第1次】

#### 主な学習内容

- ◇第1時 範読を聞き、初めて知ったこと、不思議に思ったことなどを書いて発表する。
- ◇第2時 問いかけの文やまとめを手がかりに、文章全体を3つに分ける。
- ◇第3時 なか(説明の部分)を2つのまとまりに分ける。新出漢字の練習をする。

### 【第2次】

#### 主な学習内容

- ◇第4時 文末表現を手がかりに、問題提示と問いかけを読み取る。
- ◇第5時 イソギンチャクとクマノミの体の特徴を読み取る。
- ◇第6時 イソギンチャクとクマノミの関わり合いを読み取る。
- ◇第7時 ホンソメワケベラと大きな魚の関わり合いを読み取る。
- ◇第8時 サンゴの海の生きものたちが互いに関わり合っていることを読み取る。

### 【第3次】

#### 主な学習内容

- ◇第9時 いろいろな生きものの特徴や暮らし、秘密、関わり合いなどを調べる。
- ◇第10・11時 調べたことをカードにまとめる。  
(本時10/12)
- ◇第12時 「生きものカード」を紹介し合う。

### 単元目標

- 事柄の順序に気をつけて内容の大体を読む。

### 単元構成の意図

第1次では、大まかな内容の把握や文末表現を手がかりに、段落と段落の関係を考えながら文章全体を大きく3つに分ける。

第2次では、第1段落に書かれた、「たがいに、やくに立つようにかかわり合って、くらししているものがあります。」という文に着目し、それぞれの関わりを主語と述語の関係や文末表現に気をつけて読み取る。

第3次では、海に住むたくさんの生きものたちに関心をもたせ、目的をもって本を読み、分かったことや見付けたことを「生きものカード」にまとめる。

### 「活用」の力を育てるポイント

- ①何が、どのように書かれているのかを、既習事項である「主語と述語」の関係に着目しながら読み取らせる。また、主語が省略されていたり、主語が指示語で示されたりしている表現にも着目し、「主語と述語」への理解を確かなものにする。
- ②教科書のカードを参考にしながら、伝えたいことを、分かりやすくカードにまとめる。カードを紹介し合うことで、友だちの表現のよさに気付かせる。

HOME

本時の流れへ